

視聴覚教育

NO. 342

発行日

20. 5. 20

発行

岡崎市AVL

編集

現職研修委員会

学習情報部

ネットワーク社会における豊かな学び

学習情報部部长 菅原秀美

河合の山々は若葉が出そろう、緑彩のグラデーションが、命の芽生えや燃えいずる若さを表して眩しいほどです。この生き生きとした様子を何とか映像で撮れないかと、いつもこの時期に思います。

さて、政府は二〇一〇年度を目標に、「いつでも、どこでも、だれでもICTの恩恵を実感できる社会の実現」をめざした「IT新改革戦略」を打ち出しています。整備の時代は終わり、ITの持つ力を各分野の改革に生かし、利用者の視点に立ったIT活用によって、国民が実感できる成果を実現することをめざしています。教育現場でも、児童生徒の視点に立った情報利用として、情報活用の実践力、情報の科学的な理解、情報社会への参画的態度を、体験的な学習とともに子供たちが様々なメディアを活用する中で、育てていくことが求められています。新指導要領が告示され、三年後には完全実施がなされようとしています。新指導要領になっても「情報活用能力の育成」の重要性は増す

視聴覚用語
「IPアドレス」
インターネットなどのネットワークは機器間の通信にIPという通信規約が用いられる。IPアドレスはネットワークにおける個々の通信機器やコンピュータの住所のようなもので「211.9.36.148」といったように、0から255までの10進数の数字を4つ並べて表現する。

ばかりです。確かな学力が定着し、子供の個性が生きる教育を実践するために、ネットワークやメディアの利用を通じた、問題解決、情報収集、情報交換、観察実験等での子供たちの主体的な学習の場を保障する事が必要となってきました。また、情報モラルやセキュリティ意識の育成に教育現場としての対応が迫られています。さらに、地域や家庭との交流のためや生涯学習の観点からも重要性が増しています。

学習情報部としては、これまでも様々な研究や活動を進めてきましたが、本年度も「ネットワーク社会における豊かな学びとメディア利用のあり方」をテーマに、さらに発展充実していきたいと考えています。児童生徒の「情報活用能力の育成」に向けて、早急に行わねばならない実践が多くあります。地上デジタル化に合わせた研究もその一つです。また、とりわけ今、各方面で問題になっている学校裏サイトやブログなどの児童生徒を取り巻く携帯電話やインターネットの扱いや情報モラル、セキュリティ意識をどう教えるかなど、実践研究を進めていかねばなりません。皆さんのそれぞれの立場での実践研究を期待しています。

Ⅱ視聴覚教育あれこれⅡ
平成二十年度 学習情報部方針決定！
研究主題

ネットワーク社会における豊かな学びとメディア利用のあり方を追究しよう

研究の重点

- ① 岡崎市教育ネットワークの利用環境整備と活用法の研究
- ② 校内ローカルエリアネットワークの利用環境整備と活用法の研究
- ③ 視聴覚機器や各種メディア、コンピュータの効果的な活用法の研究
- ④ 岡崎市自作ビデオの活用の促進と学校独自の自作視聴覚教材の制作
- ⑤ 視聴覚教室やパソコン教室の総合的な管理・運営方法の工夫
- ⑥ 学校教育放送・教育チャンネルや校内放送の活用法の研究
- ⑦ 情報モラルの育成や情報のセキュリティ意識の向上のための工夫

主任会の活動

- 〔広報部会〕：授業実践や研究集積、研究誌や月報の発行、学習情報部HP管理等
- 〔研修部会〕：各種研修会・講習会の計画・実施や各種視聴覚教材や教育メディアの研究、機器調査、情報モラルカリキュラム製作等
- 〔自作部会〕：自作教材ビデオ・自作マルチメディア教材の制作とその活用事例研究等
- 〔教科部会〕：「視聴覚教材・機器利用の手引き」発行、ソフトの利用促進と活用法の研究

平成二十年度組織

■視聴覚ライブラリー

所長（教育長）

江村 力

副所長

中根 文雄

職員

宮田 典彦

西尾 友希

菅原 秀美

山田 賛平

大岡 久芳

担当指導主事

竹内 昭博

指導員

本間 茂夫

世話係

内藤 法雄

寛 哲也

各部世話係

〔広報〕

佐渡 英彰

内藤 法雄

〔研修〕

川本 祐二

大坪 孝子

〔自作〕

坂田 健一

内田 雅之

〔教科〕

島田 繁直

新 育大

力

文雄

典彦

友希

秀美

賛平

久芳

昭博

茂夫

法雄

〔北野小〕

〔南中〕

寛

英彰

〔連尺小〕

法雄

〔北野小〕

〔美川中〕

〔小豆坂小〕

〔矢作中〕

〔井田小〕

〔根石小〕

〔根石小〕

〔河合中〕

杉山 康子

〔生平小〕

近藤 雄一

〔東海中〕

三輪 恭之

〔六中小〕

村田 貴志

〔甲山中〕

レッツ・トライ

《研究会》

- ・三教研自作教材研究会
- ・愛知県放送教育特別研究会

（東海北陸地方放送教育研究大会）
平成20年8月22日（金） ウイルあいち

- ・愛知県学校視聴覚教育研究会
- ・放送教育研究会全国大会および視聴覚教育総合全国大会（合同開催）

平成20年10月24日（金）・25日（土） 国立オリンピック記念青少年総合センター

この他、本年度も、多くの大会・研究会が予定されています。是非ご参加ください。

《研究論文》

- ・インターネット活用教育実践コンクール
- ・松下教育研究助成
- ・東書教育賞
- ・上月情報教育研究助成
- ・ちゅうでん教育振興助成、ちゅうでん教育大賞

県や市の教育論文をはじめ多くの応募機会があります。日頃の実践成果を是非まとめてみましょう。

《コンクール》

- ・ふるさと岡崎メディアコンクール
- ・NHK杯中学校放送コンテスト愛知県大会
- ・全国子供科学映像祭 など

児童生徒の作品コンクールも多数あります。参加してみませんか。

ライブラリーだよ

優れた視聴覚教材を教育の場に

岡崎市視聴覚ライブラリー副所長 中根文雄

四年前、二年在籍した視聴覚ライブラリーを転じ、下水の工事課、納税課、介護保険と渡り歩き、五年ぶりにライブラリーに戻って参りました。中でも介護で訪問した家庭は印象深く、母は脳梗塞で寝たきり、息子は親を粗末にする罰当たり。不衛生な部屋で夕飯の支度をする若い女性ヘルパーの姿を見た時に、これが日本の現実か、という思いを強く致しました。

社会では、連日のように殺人事件が報道され、人心の荒廃、地方の疲弊の報を聞くたびに、教育に偏りはないのか。善悪、尊徳を植付け、根付かせ、育てる教育。人の道を説く教育はどうなっているのか。教育の厳しさは何処へ行ってしまうのかという思いが強くなります。

二十一世紀の日本を担う人材を世に送り出す学校教育には、健康で思いやりの心を持った賢い国民を育てる使命があります。その一端を担う視聴覚ライブラリーは、優れた視聴覚教材等を教育の場に提供する役割を担っております。

「国創りは人創り、人創りは教育」これが私の信念です。今年一年、学習情報部の先生、関係各位のご指導の下、事務局スタッフと共に視聴覚ライブラリーの仕事を執り進めて参りたいと思っております。どうぞ宜しくお願い致します。